

平成29年第11回選挙管理委員会定例会会議録

開催日時	平成29年4月5日(水)			午後4時00分から 午後4時50分まで
出席者	委員	與川委員長、西村職務代理、伊田委員、織田委員		
	事務局	井山局長、石田次長、水越担当係長、野村主査		
開催場所	選挙管理委員会室	傍聴人	なし	
委員長	これから平成29年第11回定例会を開会いたします。			
	報告事項11-1 議員の欠員について			
局長	(別紙のとおり、議員の欠員について説明し、報告した。)			
局長	<p>辞職に伴う区議会議員1名の欠員が生じたため、区長選挙執行の際に、便乗選挙として欠員1名の区議会議員補欠選挙を行うこととなります。</p>			
	報告事項11-2 投票環境の向上に向けた取組事例集について			
局長	(別紙のとおり、投票環境の向上に向けた取組事例集について説明し、報告した。)			
局長	<p>昨年の参議院議員選挙にて実施された全国の取組事例として、①共通投票所の設置、②大学や商業施設等への期日前投票所の設置、③期日前投票の投票時間の弾力化、④投票所等への移動支援等が、総務省から公表されました。</p>			
伊田委員	<p>共通投票所を設置した場合、同一時刻で別の投票所でも同一の名前にて投票しようとしたら、二重投票になる可能性がありますか。</p>			
局長	<p>仮に、杉並区で共通投票所を設置した場合は、各期日前投票所とオンラインで直接結ぶこととなりますので、他の投票所にも瞬時に投票済みの表示が反映され、二重投票の可能性は生じません。</p>			
伊田委員	<p>移動支援について、例えば地方ではタクシーでの支援ではなくて、車両を利用した移動式の期日前投票所を用意した方が効果的ではないかと思えます。</p>			
局長	<p>今回の事案の中にも、その方法によるものが含まれています。</p>			
西村委員	<p>費用対効果としては、移動式投票所よりも、選挙人の移動自体への支援の方が有効なのでしょうか。</p>			
局長	<p>大都市ではなかなか実現しにくく、国政選挙の試行として地方で実施した事例となっています。</p>			
伊田委員	<p>国政選挙では実施できたのですが、地方選挙でも続けられるかどうか</p>			

	かと思えます。
局 長	それは、地方の超過負担に結びつく問題点だと思えます。
伊田委員	投票時間の延長の事例がありますが、この延長費用は国が負担したの
	でしょうか。
局 長	国が負担したものと思えます。
織田委員	投票時間の延長は、夏・冬などで状況が大きく変わるので、十分に検討
	する必要があります。
局 長	投票時間の延長が、全体の投票率の向上に結びつくとも言い切れないと
	思えます。
	報告事項 1 1－3 5月の日程について
局 長	(別紙のとおり、5月の日程について報告を行った。)
	その他・日程等について
局 長	(今後の委員会日程等について確認を行った。)
委員 長	他に質問がなければ、本日の委員会を閉じます。